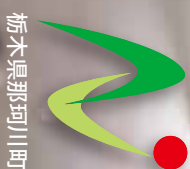


# 議会だより

NO.73

令和5年1月10日

# たのびがわ



栃木県那珂川町

テーマ(ふれあい)  
ただいまレッスン中

## 主な内容

9月定例会の結果  
ここが聞きたい! 一般質問(7人)

(2P~5P)  
(6P~12P)

処分場見学・行政調査  
議会・委員会のうごき  
キラリ☆まちおこし・編集後記

(13P~16P)  
(17P~19P)  
(20P)

〒324-0692 栃木県那珂川町馬頭555

電話0287

(92) 1170

e-mail gikai@town.tochigi-nakagawa.jp

発行/栃木県那珂川町議会 ●編集/那珂川町議会広報特別委員会

# 議員全員による決算審査特別委員会を設置 一般会計など8会計全てを認定

令和5年第4回那珂川町議会定例会は、9月5日に開会し、会期を19日までの15日間と定め、7名の一般質問のほか、条例改正、令和5年度補正予算の審議などを行いました。

令和4年度各会計決算については、決算審査特別委員会を設置して審査を行い、8会計全ての決算を認定しました。

今期定例会には、報告2件、議案13件、認定8件が上程され、全ての議案を可決しました。

## ◆定例会の主な日程◆

- 9月 5日(火) 一般質問（大金清議員、矢後紀夫議員、小川正典議員、高野泉議員）
- 9月 6日(水) 一般質問（川俣義雅議員、益子明美議員、神場圭司議員）、常任委員会
- 9月 7日(木) 議案審議、決算審査特別委員会設置、常任委員会
- 9月 8日(金)～15日(金) 決算審査特別委員会（議員全員）
- 9月19日(火) 令和4年度各会計歳入歳出決算の認定、請願審査報告、議案審議 ほか

## 補正予算

### ◆令和5年度一般会計補正予算

（全員賛成 原案可決）

- 一般会計補正予算は、農業用燃油や農業用資材等の高騰に対する支援事業をはじめ、生後6か月以上の方を対象とした新型コロナウイルススワクチン接種事業のほか、中学校の部活動の地域移行に向けたモデル事業に要する費用など、1億7700万円を増額するもので、補正後の予算総額は、89億9600万円となりました。
- ・ 国有林伐採に伴う馬頭部分林管理委員会への交付金 3953万円
- ・ あじさいホール空調機器修繕に係る経費 332万円
- ・ 新型コロナウイルススワクチン接種事業に係る経費 3655万円
- ・ 農業用燃油・資材高騰支援などに係る経費 3150万円
- ・ 燃料費・電気料高騰による中小企業支援に係る経費 2000万円
- ・ まほろばの湯ろ過設備修繕に係る経費 200万円
- ・ 住宅・建築物耐震改修等事業に係る経費 3780万円

- ・ 中学校の部活動の地域移行に向けたモデル事業に係る経費 53万円

- ・ 青少年海外体験学習派遣事業における燃料価格・物価高騰対策に係る経費 230万円
- ・ 各自治公民館の改修工事等に係る経費 5910千円
- ・ 農地農業用施設の災害復旧に係る経費 800万円 など

**質問** あじさいホールの空調修繕費はもっと早く予算化されるべきではなかったか。なぜこの時期になったのか。

**答弁** 天井を解体するために足場を設置するなど様々な費用がかかるということで、来年の使用を見据えて今年度中に補正を計上した。

**質問** 農林水産業費の3150万7千円の内訳は。

**答弁** 農業振興諸費は学校給食の地産地消に10万円、中山間地域活性化協議会補助金173万3千円、農業者への燃料高騰交付金2800万円、環境保全型農業直接支払い交付金167万4千円。

◆後期高齢者医療特別会計補正予算  
◆介護保険特別会計補正予算  
◆下水道事業特別会計補正予算  
(いずれも全員賛成原案可決)

## 令和5年度 一般会計及び特別会計補正予算

単位：千円

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	8,819,000	177,000	8,996,000
後期高齢者医療特別会計	237,000	500	237,500
介護保険特別会計	2,000,000	5,400	2,005,400
下水道事業特別会計	278,000	8,000	286,000

### 人事案件

◆固定資産評価審査委員会委員選任  
(全員賛成原案可決)

小幡 一美 氏(再任)  
藤田 洋 氏(再任)  
川俣 勇也 氏(再任)

11月27日に任期満了となる、小幡一美氏(松野)、藤田洋氏(馬頭)、川俣勇也氏(吉田)、を再任して固定資産評価審査委員会委員に選任することについて、議会の同意を求められ、異議なく賛同しました。

### ◆町教育委員会委員の任命

(全員賛成原案可決)

木村 輝昭 氏(新任)

長谷川久夫氏(小川)が11月28日をもって任期満了となることから、新たに木村輝昭氏(三輪)を教育委員会委員に任命することについて、議会の同意を求められ、異議なく賛同しました。

### 条例改正

### ◆地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理

(全員賛成原案可決)

地方自治法の一部改正により、指定公金事務取扱者制度が創設されたことから、条例の規定について必要な改正を行うものです。

### ◆職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正

(全員賛成原案可決)

国家公務員の休憩時間制度の柔

軟化を目的として、人事院規則が改正されたことに伴い、休憩時間の置き方の規制緩和など、国家公務員の措置との均衡を図るため、町職員の条例の規定について、必要な改正を行うものです。

### 質問 休憩を一齐に与えないことができるというのは、どのような時に適応するのか。

【答弁】 認定こども園の職員、学校関係の会計年度任用職員の休憩は、一齐ではなく交代で対応している。

### ◆所得税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の一部改正

(全員賛成原案可決)

所得税法等の一部を改正する法律が公布され、令和5年10月1日からのインボイス制度の導入に伴い、下水道条例及び農業集落排水処理施設条例の使用料について、端数処理方法を改めるものです。

### 質問 インボイス制度の導入で、下水と農業集落排水の使用料の端数処理方法が、10円未満を切り捨てから1円未満が切り捨てされ、より正確になるということか。

【答弁】 10月1日からさらに正確な料金体系となる。

### 請願

### ◆小川湯津上バイパス延伸開通工事に係る請願

請願者

小川第一行政区長 永森徹氏

請願の趣旨

中の原交差点付近の交通量の分散化を図るため、小川湯津上バイパスの延伸開通工事を求める。

審査経過

総務産業常任委員会へ審査付託

審査日 9月7日 (川上要一委員長)

常任委員会審査結果

採択(全員賛成)

本会議結果 採択(全員賛成)

### 議員派遣

### ◆議員行政調査と議員研修

(全員賛成原案可決)

(1) 議員行政調査

派遣場所 宮城県丸森町及び宮城県柴田町

派遣日時 10月11日～12日

派遣議員 全議員

(2) 栃木県町村議会議長会議議員研修

派遣場所 宇都宮市

派遣日時 11月20日

派遣議員 全議員

派遣議員 全議員

令和4年度決算慎重審議で認定

決算審査特別委員会を設置

議員全員で構成する決算審査特別委員会（益子明美委員長）を設置し、一般会計をはじめ、特別会計と水道事業の8会計について、8日から15日まで6日間をかけて審査を行いました。

令和4年度決算における決算審査特別委員会の意見は、以下のとおりです。

委員会での採決結果

決算審査特別委員会では、一般会計及び国民健康保険特別会計が賛成多数（反対1）、特別会計5会計と水道事業が全員賛成で、認定すべきと採決されました。

最終日19日の本会議に委員長より決算審査の報告があり、本会議においても一般会計及び国民健康保険特別会計が賛成多数（反対1）、特別会計5会計と水道事業が全員賛成で認定されました。

令和4年度各会計歳入歳出決算の内訳及び認定状況

（単位：千円）

会計名	歳入決算	歳出決算	歳入歳出差引額	認定結果	
一般会計	9,554,788	8,516,055	1,038,733	賛成多数	
特別会計	ケーブルテレビ事業	320,095	302,599	17,496	全員賛成
	国民健康保険	2,078,500	2,028,343	50,156	賛成多数
	後期高齢者医療	229,854	219,704	10,150	全員賛成
	介護保険	2,151,054	1,966,232	184,822	全員賛成
	下水道事業	303,411	293,975	9,436	全員賛成
	農業集落排水事業	50,254	44,912	5,342	全員賛成
合計	14,687,956	13,371,820	1,316,136		

水道事業	収入	支出	収入支出差引額	認定結果
収益的収入及び支出	422,051	355,169	66,882	全員賛成
資本的収入及び支出	140,006	237,335	△97,329	

財政力指数	
令和4年度	0.386
令和3年度	0.398
令和2年度	0.420
令和元年度	0.424

※「財政力指数」は、「1」に近いほど財政力が強いとされています。

基金等の状況(貯金しているお金)

（単位：千円）

会計名	年度末残高	前年度末残高	前年比
一般会計の計	8,558,314	8,204,801	353,513
特別会計の計	390,384	309,731	80,653
合計	8,948,698	8,514,532	434,166

町債の残高(借りているお金)

（単位：千円）

会計名	年度末残高	前年度末残高	前年比
一般会計の計	7,699,487	8,305,019	△605,532
特別会計の計	1,249,960	1,350,408	△100,448
合計	8,949,447	9,655,427	△705,980

決算審査特別委員会の意見

1 公共交通確保対策事業に関しては、利用者数の減少と収支率低下の対策として、令和5年3月に策定した「那珂川町地域公共交通計画」に基づき、利用促進施策の充実と、国や県補助金の確保に努められたい。

2 田舎暮らし体験住宅について、事業本来の目的に沿い、移住定住につながるよう、新たな利用プログラムの策定など、効果的な事業の推進に努められたい。

3 町営住宅の家賃をはじめとする、使用料や利用料等の私債権の滞納繰越分については、債権回収計画を立て、計画的な回収に努められたい。

4 道の駅ばとう駐車場増設に伴う、土地購入費や工事請負費が全額未執行となっており、事業凍結ということなく、道の駅利用者増につながるよう、に早急に対策を考えられたい。

## 第4回定例会議案採決(9月7日)の状況

賛成:○ 反対:●

議案の内容		議員名	神場圭司	矢後紀夫	高野泉	福田浩二	大金清	川俣義雅	小川正典	鈴木繁	益子明美	大金市美	川上要一	小川洋一
議案第1号	那珂川町固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	那珂川町固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	那珂川町固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	那珂川町教育委員会委員の任命同意について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	那珂川町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	所得税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	令和5年度那珂川町一般会計補正予算(第4号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	令和5年度那珂川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	令和5年度那珂川町介護保険特別会計補正予算(第1号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	令和5年度那珂川町下水道事業特別会計補正予算(第1号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	令和4年度那珂川町下水道事業未処分利益剰余金の処分について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※益子純恵議長は採決に加わりません。

## 第4回定例会議案採決(9月19日)の状況

賛成:○ 反対:●

議案の内容		議員名	神場圭司	矢後紀夫	高野泉	福田浩二	大金清	川俣義雅	小川正典	鈴木繁	益子明美	大金市美	川上要一	小川洋一
認定第1号	令和4年度那珂川町一般会計歳入歳出決算の認定について	町長提出	○	○	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	○
認定第2号	令和4年度那珂川町ケーブルテレビ事業特別会計歳入歳出決算の認定について	町長提出	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号	令和4年度那珂川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	町長提出	○	○	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	○
認定第4号	令和4年度那珂川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	町長提出	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号	令和4年度那珂川町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	町長提出	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号	令和4年度那珂川町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	町長提出	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第7号	令和4年度那珂川町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	町長提出	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第8号	令和4年度那珂川町下水道事業決算の認定について	町長提出	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発委第1号	議員の派遣について	委員長提出	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	小川湯津上バイパス延伸開通工事に関する請願について	委員長提出	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	馬頭総合福祉センター駐車場整備工事請負契約の締結について	町長提出	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※益子純恵議長は採決に加わりません。

# 一般質問！ 大金 清 議員

- Q 小中学校の体育館の空調設備設置について
- Q 認知症基本法に基づく町の計画策定について
- Q 行政区について

## 小中学校の体育館に空調設備の設置を

(町長) 財源確保等・近隣市町の状況を踏まえ検討研究



大金 清 議員

**質問** 気候変動による猛暑の中で  
の児童生徒の体育館使用時の熱中  
症対策、また、災害時の避難所にも  
指定されているため、空調設備  
を設置すべきでは。

**答弁** 空調設備が設置されれば児童  
生徒も安全な活動が可能にな  
る。今後調査研究をしていきたい。

**質問** 学校生活での熱中症対策は。  
**答弁** 教職員で共通理解を図り体  
制を整えている。

**質問** 児童生徒の健康管理や避難  
所としての観点から空調設備が重  
要と考えるが。

**答弁** 本当に検討していく重要事  
項。防災面でも考えていく必要が  
あり、今後早急に検討したい。

### 認知症基本法に基づく計画策定

**質問** 認知症患者の人数は。

**答弁** 8月1日現在で598人。

**質問** 認知症対策の現状は。

**答弁** 認知症を正しく理解し、早  
期発見や早期治療につなげるため  
の事業のほか、専門員による相談  
事業、脳活いきいきタイム、普及  
啓発のための認知症ガイドを作成  
し全戸に配布している。

**質問** 認知症サポーターの人数は。  
**答弁** 現在、1170名が認知症  
の養成講座を修了している。

**質問** 認知症サポーターの増員は。  
**答弁** 今後5年間で千人、10年後  
には2千人の養成を考えている。

**質問** 65歳以上の5人に1人が認  
知症と言われる2025年も近  
い。法律に基づく認知症基本計画  
を策定すべきでは。

**答弁** 第9期介護保険事業計画に  
盛込む方向で検討を進める。

### 行政区について

**質問** 行政区の加入戸数の推移は。

**答弁** 令和3年度4120戸、令  
和4年度4021戸、令和5年度  
3933戸と年々減少傾向にあ  
る。

**質問** 行政区長の男女数は。  
**答弁** 合併時から全て男性。

**質問** 男女共同参画の観点から行  
政区の運営に女性参画が少ないが。  
**答弁** 男女共同参画の意識の醸成  
に努め、女性が参画しやすい環境  
づくりを行政区と連携して行う。

**質問** 行政区の加入戸数の減少に  
対する町長の考えは。

**答弁** あくまでも各行政区の中で  
対応をお願いしたい。

**質問** 行政区を抜けた場合、地域  
行政について大きな差異は出る  
か。

**答弁** 町からの情報が行き届かな  
くなるのが考えられる。

**質問** 行政区の班や組が解散しな  
いための施策を講じているか。

**答弁** 有効な情報を収集して加入  
率向上に取り組んでいきたい。

**質問** 地域の担い手不足解消のため、  
職員の地域貢献活動休暇を導  
入する考えは。

**答弁** 先進事例も参考に今後検討  
したい。

### 小中学校の体育館に空調設備設置

**質問** 小中学校の体育館における  
空調設備設置の現状は。

**答弁** 小中学校の体育館に空調設  
備は設置していない。

**質問** 近隣市町における小中学校  
体育館の空調設備の設置状況は。

**答弁** 塩谷南那須管内では、矢板  
市では、1小学校、3中学校。塩  
谷町では、1中学校に設置されて  
いる状況。

# 一般質問！ 矢後紀夫 議員

Q 循環型社会を目指す生ごみ堆肥化事業について  
Q 学校体育館の冷房設備の設置について

## 今後の循環型社会を目指す生ごみ堆肥化事業は

(町長) 事業開始から8年が経過し、事業の見直しや改善検討が必要な時期に来ている



矢後紀夫 議員

**答弁** 収集した生ごみにビニールやプラスチック片などが混入しており、堆肥からそれらを取り除く必要があります。商品化して販売することは難しい。

**質問** ゴミの出し方の周知ばかりが先に立ち、資源やゴミに対する、「4R」や「3切り」といった基本的意識の周知がなされていないのでは。

**答弁** 4Rのリフューズやリデュース、食材の使い切り、食べ切り、生ゴミの水切りの3切りなどの普及啓発に努める。

**質問** 11行政区120箇所のゴミステーションの限定事業としているのはなぜか。町全体で、循環型社会を目指していることになるのか。

**答弁** 町内全域に拡大した場合、事業費が現在の3倍以上に増加することが見込まれたため、地域を

限定している。

**質問** 膨大な事業費に加え、設備の老朽化も著しく、更なる財政負担を増やすことも予想もできるが、今後も事業を継続するのか。

**答弁** 本事業の目的には、循環型社会の実現や環境保全に対する地域社会の意識醸成など、費用に換算できない部分もあるが事業のあり方については引き続き検討していく。

### 学校体育館の冷房設備 設置について

**質問** 暑さ指数(WBGT) 25℃以上での体育館での活動は。

**答弁** 定期的な休息と水分補給、冷風機や大型扇風機の使用などで対応した。また、指数値によっては活動の中止、授業の入れ替えなどで対応した。

**質問** 熱中症を心配するあまり、体育授業の中止により、児童生徒たちの運動量が減っているのでは。

**答弁** 体力低下の検証はしていないが、運動時間は減少している。

**質問** 山形県米沢市の中学校で部活動の帰宅途中に起きた熱中症による死亡事故は、那珂川町では起き得ない事故だと思ふか。

**答弁** 起きてはならない事故。生徒児童において身体を暑さに徐々に慣らしていくことに加え、朝食の有無や部活動前の体温測定など細かいチェックも重要。

**質問** 高齢者が多いこの町で、体育館に避難をして体調を崩しては意味がなくなってしまう。防災面、そして夏場における児童生徒の安全な運動のためにも、学校体育館に冷房設備を設置すべきでは。

**答弁** 近隣市町をはじめ、県内の状況や動向をみながら調査研究を行う。

### 暑さ指数(WBGT)とは？

①気温、②湿度、③輻射熱から熱中症の危険度を表す数値。

### 生ごみ堆肥化事業について

**質問** 年間総事業費1675万9750円の生ごみ堆肥化事業の費用対効果は。

**答弁** 可燃ごみに含まれる生ごみを40%削減し、二酸化炭素の排出量抑制、これまで187トンの堆肥を製造し町民に無償配布した。

**質問** 事業費用が膨大であるにもかかわらず、なぜ堆肥を商品化せず無償で配布しているのか。

# 一般質問！ 小川正典 議員

## 放課後児童クラブを利用している世帯に対して、

## 2名以降の利用料を減免する考えがあるか

(町長) 子育て世帯の経済的負担軽減策として、関係各課と協議しながら前向きに検討する



小川正典 議員

- Q 放課後児童クラブの管理運営について
- Q 消防水利の設置状況について
- Q 馬頭総合福祉センター駐車場の整備について

**答弁** 庁内の調整担当者会議で検討を進めていくこととしている。

**質問** 小川小学校を教室の活用を早急に検討すべきでは。

**答弁** 現在、小川小学校に空き教室が無い。出入口やトイレ、施設の管理なども含め具体的にどうするかを関係各課と検討する。

### 放課後児童クラブの管理運営

**質問** 小川放課後児童クラブの施設は、老朽化が進み危険が潜んでいる。施設の今後の方向性は。

**答弁** 施設の老朽化は認識している。小川小学校の余剰教室の活用、新施設を設置、既存施設の改修等、適切な選択肢を協議していく。

**質問** 危険性を認識していながら具体的な方向性が示せない理由は。



老朽化が進む小川放課後児童クラブ

**質問** 隣の市では、2人目を半額、3人目以降を9割減免としている。当町も来年度から減免する考えは。

**答弁** 利用料について減免の手法や利用者の推移などを含めて前向きに検討する。

### 消防水利の設置状況

**質問** 防火水槽及び消火栓の設置状況は。

**答弁** 防火水槽が361基、消火栓は333基。

**質問** 第4分団における行政区ごとの消火栓の設置状況は。

**答弁** 小口地区に7基、北向田地区に4基、久那瀬地区に6基、松野地区に1基、富山地区に8基。

**質問** 何故、松野地区には消火栓が1基しか設置されていないのか。

**答弁** 消防水利には河川や水路、沢などの自然水利も含まれ、自然水利が確保出来ていれば地域によって差が出る。

### 馬頭総合福祉センター駐車場整備

**質問** 駐車場用地の取得日は。

**答弁** 令和4年7月2日に取得。

**質問** 設計完了から着工までに、半年もの期間を費やした理由は。

**答弁** 県と協議を進めてきたが6月の集中豪雨により、排水計画の見直し等に期間を費やした。



馬頭総合福祉センターの駐車場整備



# 一般質問！ 高野 泉 議員

Q 水道事業の取り組みと課題について

## 水道事業の取り組みと課題は

(町長) 施設の耐震化や老朽化した管路の更新を計画的に行い、更新の必要性と優先度を見極める



高野 泉 議員

**質問** 水道施設の老朽化に対する対応は。

**答弁** 事業開始に布設された多くの配管が更新月を迎えている為、計画的な更新及び改修、点検や補修などの保全対策を行っている。

施設の更新の際には、将来の給水人口や水需要を検討し、更新費用の削減を図る。

**質問** 水道事業に係わる職員の人材確保及び育成は。

**答弁** 水道事業では、水道施設の設備操作や管路状況の熟知をはじめとする技術的知識と、地方公営企業法に基づく経営状況の把握などの経営的知識が求められる。業務に必要な資格取得のための講習や各種研修会に積極的に参加し、職員の技術と知識の向上に努める。

**質問** 水道事業の持続的な経営は。

**答弁** 健全で効率的な経営を継続するため、収支のバランスを的確に把握し、更新費用の平準化を図っていく。

**質問** 水道事業の取り組み等に関する住民への周知は。

**答弁** 経営戦略、水道ビジョン、水質検査計画及び検査結果をホームページにて公表している。

今後積極的にホームページやケーブルテレビ、広報紙などで積極的にお知らせする。

**質問** 水道事業の広域化に対する町の考えは。

**答弁** 栃木県が主体となり、栃木県水道広域化推進プランが策定された。町としても、本プランのモデルケースなどを議論し検討していくため、関係自治体と勉強会などの検討の場を設け、県の助言を受けながら検討していく。

## 水道事業の取り組みと課題

**質問** 水道事業の取り組み状況と課題は。

**答弁** 水道は重要なライフラインの一つであり、安定した水道水の供給に努めている。課題としては、多くの水道施設が更新時期を迎えており、今後更新費用の増大が見込まれていることから、更新の必要性と優先度を見極めていくことが必要。



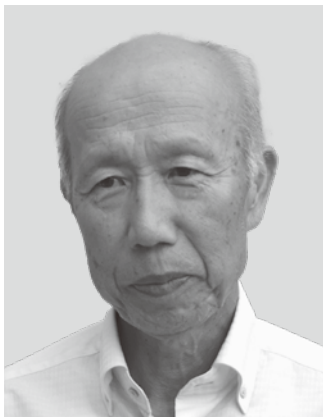
**質問** 水道水の安全性は。

**答弁** 水道法により定期検査及び臨時の水質検査が義務づけられており、町では、那珂川町水道事業水質検査計画を策定し、定期的な検査を行っている。

# 一般質問！ 川俣義雅 議員

- Q 熱中症対策について
- Q 県営処分場の安全対策について
- Q 学校給食について

## 処分場「協議会」委員に3区長任命はおかしくないか (町長) 3区長は代表として十分と考える。



川俣義雅 議員

**答弁** 有効と思うが、必ずしもエアコンが必要とは思わない。

**質問** 町としては、エアコンを使ってほしいと考えているか。  
**答弁** 設置されている家庭では有効に使ってほしい。

**質問** 全家庭にエアコンの設置が望ましいと考えるが町の考えは。  
**答弁** 中にはエアコンがないと生死にかかわる家庭もあると思う。国から給付金も出ていることから、使い道は各家庭で考えてほしい。

**質問** エアコンを新たに購入する場合、補助金を出す考えはあるか。  
**答弁** 現段階では考えていない。

### 馬頭処分場の安全対策について

**質問** 安全推進協議会に公募の委員を入れてほしいという意見があると、県に伝えたか。

**答弁** 他県の例を参考に取り入れないとのこと。

**質問** 和見、小口、小砂行政区の区長が協議会の委員に選出されているが、町の行政機関の区長を、そのまま協議会の委員に任命するのはおかしくないか。  
**答弁** 地域代表として町の会議に出ているので問題はない。

**質問** 委員の選出について各行政区で確認を取っているのか。  
**答弁** 県が当人を訪問して確認している。町は関与していない。

**質問** 協議会委員は町民代表でもある。もっと丁寧な説明が必要だったのではないか。  
**答弁** 3地区の区長は地域の代表として十分。なりたければ地区の代表にもなれる。

**質問** 3地区だけの問題ではない。シート破損も協議会に報告されるのか。  
**答弁** 当然説明があると思う。

**質問** 協議会が定期的に開かれな

**答弁** 年1回以上開くことになった。

**質問** モニタリングポストの施設外設置を要求しないのはなぜか。  
**答弁** 必要ないと考える。

### 給食費を無償にし、地元産食材のさらなる提供を

**質問** 町で給食費を無償化する考えはあるか。  
**答弁** 3年間は半額負担の予定。現在、無償化の予定はない。

**質問** 給食に地元産食材を増やす考えはあるか。  
**答弁** 地元産農産物の使用を推進している。

**質問** 給食にどんな野菜が使われているか、給食センターで調べてもらったら、玉ねぎ、ジャガイモ、キャベツ、ニンジン、大根の順で、キャベツ以外は町産のものを使っていないということだった。ぜひ、使うようにしてもらいたい。

**答弁** 関係機関と連携し検討したい。

### 熱中症対策について

**質問** 猛暑日が多かったこの夏、町は熱中症対策の告知放送で、涼しい部屋で過ごすよう呼びかけた。エアコンの設置を想定していたのか。

**答弁** エアコンだけではなく扇風機、冷風機、よしず、グリーンカーテンなども想定としてはある。

**質問** 国と県では「エアコンを適切に使う」と呼び掛けている。この方針をどう捉えているか。

# 一般質問！ 益子明美 議員

Q 馬頭高校の存続のために町としてすべきことについて  
Q 6月14日の大雨に対する町の対応について

## 馬頭高校が2学級に再編されることについて

(町長) 第3期再編計画が決定されるまでの動向を注視し、必要な場合は協議する

## 町は県教委と協議すべき



益子明美 議員

は、協議の場を設定するよう県教委に要望すべきでは。

**答弁** 町としては、令和11年度までは馬頭高校の存続が示されたことで、要望が組み入れられたと考える。今後は動向を注視し、必要な場合は県教委と協議を行いたい。

### 馬頭高校存続のために

#### 町としてすべきこと

**質問** 第3期県立高校再編計画(案)で馬頭高校の2学級特例校の案が示されたが町の考えは。

**答弁** 今後の入学者の見込みを想定するとやむを得ない。

**質問** 3学級特例校から2学級特例校に再編する場合は、地元も十分に協議するとしている。県教委に質問したところ地元とは協議していないという答えだった。町

## 町は県教委と協議すべき

**質問** 馬頭高校生や卒業生で組織される青年団の活動の場として、町が確保しているスペースを開放していくべきでは。

**答弁** 青年団の活動の内容を考慮し、支援していきたい。

**質問** 地元就職先として町役場への就職を希望する生徒もいる。公務員になるための指導や支援に町も積極的に関与していくべきと考えるが町の考えは。

**答弁** 今年度においては、役場の業務並びに施設見学を6月に2回実施し、11月にはインターンシップ事業が予定されている。様々な場面において公務員のやりがいと魅力を発信していきたい。

### 6月14日の大雨に対する

#### 町の対応について

**質問** 短時間集中的な大雨であったことから、避難情報をはじめ町民への周知は十分にできたのか。

**答弁** 住民の安全確保のため14時45分に総合体育館を避難所として開設し、町民へは音声告知及びホームページで周知した。

**質問** 今回の大雨で馬頭小学校の裏山からの土砂や雨水で排水溝があふれ校庭等に被害を及ぼした。その後の対策はどのようなものか。

**答弁** 栃木県の治山事業において、流木などの支障物の対策と側溝の整備が進められる予定。

**質問** 1時間雨量が74mmであったことから町中の排水が追い付かず溢れ民家の床下浸水を引き起こしたり町中心部の道路が冠水するなどした。町中心部の排水溝について今後どのような対策が必要と考えているか。

**答弁** 今後、道路側溝の清掃を行い水の流れを妨げない対策を講じるほか、馬頭中心部を流れる町堀の水量を調整することで雨水の排水先を確保するなどの対応を考えている。

# 一般質問！ 神場圭司 議員

- Q 結婚新生活支援事業について
- Q 学校の部活動の地域移行について

## 学校の部活動の地域以降に町として十分な予算確保を

(教育長) 町として必要な経費を精査、受益者負担も考慮して予算確保に努める



神場圭司 議員

紙、婚姻届の提出窓口において事業の案内をしている。

**質問** 所得制限額を引き上げ又は撤廃し、対象者を増やすべきと考えるが、町の考えは。

**答弁** 国が支援する、地域少子化対策重点推進交付金を活用しており、所得制限の引き上げは、国の動きを注視し、さらなる緩和を国に要望していく。

**質問** 対象年齢の上限を39歳とした理由について町の考えは。

**答弁** 国交付金の交付要綱、実施要綱に沿った形で実施している。

**質問** 町の人口増を図るためにも年齢を制限すべきではないと考えるが町の考えは。

**答弁** 年齢制限につきましても、国の動きを注視し、さらなる緩和を国に要望していく。

## 学校の部活動の地域移行について

**質問** 学校の部活動の地域移行における町の現状と課題は。

**答弁** 学識経験者や各関係団体代表者等を委員とした検討委員会を開催し、協議を行っている。地域移行に向けた課題としては、指導者の確保や受け入れ団体の確保、保護者の経済的負担に係る対応等が必要となる。

**質問** 現在指導している先生に、現場の声や今後の意向について調査が必要と考えるが、町の考えは。

**答弁** 検討委員会の委員として、各中学校の校長、部活動の顧問代表者を選出し、部活動の現状や、今後に向けた教員の意見を集約していく。

**質問** 主役である児童生徒や保護者に、意見の調査が必要と考えるが町の考えは。

**答弁** 町教育委員会として、児童生徒及び、保護者に対して、アンケート調査を実施し、現状把握等に努めていく。

**質問** 指導が地域に移行しても、学校施設や町の体育施設の利用について、十分な対策がとられるか。

**答弁** 学校施設や、町の施設が実情に応じて利用できるよう、町内関係団体及び関係部署と調整を図っていく。

**質問** 学校の部活動が地域に移行された場合も、町として十分な予算確保に努めていく考えはあるか。

**答弁** 町として必要な経費について精査した上で、予算確保に向けた対応が必要。今後、受益者負担も考慮した上で、予算確保について検討を進めていく。

## 結婚新生活支援事業について

**質問** 結婚新生活支援事業の成果と課題は。

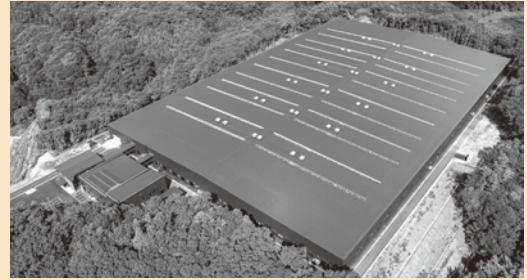
**答弁** 実績としては、平成29年度から事業を開始してから、現在まで4件と少ない状況にある。課題としては、申請者が少ないことが挙げられる。

**質問** 事業の周知をどのようにしてきたか。

**答弁** 町ホームページや、町広報



# 稼働前の 最終状況を確認



エコグリーンとちぎ全景（写真：栃木県提供）

今年の9月に本格稼働を迎えた、「県営処分場エコグリーンとちぎ」の稼働前の最終状況を確認するため、議員全員による現場見学会を8月30日に実施しました。

## 県営処分場 エコグリーンとちぎ

事業概要の説明では、栃木県資源循環推進課職員とクリーンテックとちぎ（PFI事業者）から、施設の概要や運営について説明を受けたほか、計量棟や被覆施設、管理棟内部など建物の施工状況を確認しました。※質疑の回答者＝県（栃木県）、事（PFI事業者）

**質問** 搬入される廃棄物の放射線量の測定はどこで行われるのか。  
**答弁** 計量棟で計測する。（事）

**質問** 放射線量が規定値を超えていた場合の対応は。  
**答弁** 受入できない旨を排出事業者に伝える。（事）

**質問** 処分場内の雨水対策について、想定雨量はどのくらいか。  
**答弁** 1時間雨量で80mmを想定している。6月14日の大雨でも特段の問題はなかった。（県）

**質問** 調整池の容量と排水の調整はどのように行われるか。  
**答弁** 調整池の容量はおよそ1万㎡。調整池の水は、雨量の状況により、ダム開口部で調節され排水される。（事）



計量棟の様子

**質問** 調整池の設計雨量について、国から補正をかける動きがあるが、その対応は。  
**答弁** 30年に1度の大雨を想定して設計。設計雨量について補正等は行っていない。（県）

**質問** 栃木県内は雷の発生が多いが、施設の落雷対策はどのようにされているか。  
**答弁** 落雷対策として、機器類を守る保護装置を設置している。（県）

**質問** 施設の維持管理マニュアルは、一般向けに公表されるのか。  
**答弁** 公表の方法などを検討しており、安全推進協議会にも相談させていただく予定。（県）

**質問** 日常点検の内容は。住民向けに公表はされるのか。  
**答弁** 内容や公表の方法などを検討しており、住民にわかりやすい方法を検討したい。（県）

## 北沢不法投棄地

小口地内の北沢不法投棄地について現在の状況を確認しました。



北沢不法投棄地の様子

# 議会改革の取組を視察しました

## —宮城県丸森町・宮城県柴田町—

### 那珂川町議会議員行政調査

那珂川町議会では、令和4年12月に、議会改革特別委員会を設置し、議会基本条例の検証をはじめ、議員定数や報酬数の見直し等について検討を進めています。

今回、10月11日から12日にかけて、宮城県丸森町と柴田町を議員全員で訪問し、議会改革に関する取り組みを視察しました。

#### 議員定数と報酬・政務活動費

##### 《宮城県丸森町》

#### ◆丸森町の概要

丸森町は宮城県の南端に位置し、南西は福島県と隣接しており、町の総人口は1万1972人(10月1日現在)で、世帯数は4927戸。町の総面積は、273・30キロ㎡となっています。

#### ◆議員定数と議員報酬

丸森町の議員定数は、平成の初期に20名を超えていた定数を、住民アンケートの結果等を踏まえながら、現在は14名となっています。

議員報酬については、平成8年から現在の額(議長32万1千円、副議長26万9千円、議員25万8千円)を維持しています。

#### ◆政務活動費

丸森町では、政務活動費を導入

し調査研究費や研修費等の一部を交付しています。交付額は、使途基準に応じて議員一人当たり年間6万円を上限に交付されます。

#### ◆その他

議会改革の経過や基本条例、高校生との懇談会の実施方法などについて意見交換をしました。



丸森町議会との意見交換

#### 基本条例検証・ICT技術活用

##### 《宮城県柴田町》

#### ◆柴田町の概要

柴田町は、仙台市から南へ約25kmの所に位置しています。町の総人口は、3万6863人(10月1

日現在)で、世帯数は1万6390戸。町の総面積は、54・03キロ㎡となっています。

#### ◆議会基本条例の検証

柴田町議会では、独自のチェックシートを作成して、2年サイクルで議会基本条例の検証を行うとともに、議会アドバイザーによる第三者評価を実施しています。

#### ◆ICT技術の活用

ICT技術の活用では、タブレットを導入してペーパーレス化を進めているほか、コロナ禍ではオンラインによる町民との懇談会を開催しています。



柴田町議会から説明を受ける

# 定住支援・地域ブランドを調査

## 総務産業常任委員会行政視察

総務産業常任委員会(7名)は、10月3日から4日にかけて、山梨県市川三郷町の定住支援の取り組みと、長野県松川町の地場産業と地域ブランドの振興策を視察しました。

### 立地の良さを上手にアピール 《山梨県市川三郷町》

#### ◆市川三郷町の概要

市川三郷町は、甲府盆地の南西に位置し、町の総人口は1万4746人(10月1日現在)で、町の総面積は75キロ㎡となっています。

#### ◆定住支援の取組

市川三郷町では、国や県の補助事業を活用した、若者定住促進住宅補助金事業や結婚新生活支援事業など、町内への定住支援に取り



定住支援について説明を受ける

組んでいます。

#### ◆補助金等の実績

若者定住促進住宅補助金では、平成27年度から、多い年で年50件を超える申請があり、累計で見ると、令和4年度までに272件(964人)に対して補助金を交付しています。

### リンゴ・観光・熱意で

### 町おこし 《長野県松川町》

#### ◆松川町の概要

松川町は、長野県南部の下伊那郡の最北、伊那谷のほぼ中央に位置し、町の総人口は1万2241人(9月1日現在)で、町の総面積は72・79キロ㎡となっています。

#### ◆地場産業・地域ブランドの振興

松川町では、果物(りんご)と観光による滞在・交流型の観光地域づくりを力を入れています。



観光地域づくりについて説明を受ける

#### ◆観光地域づくり

観光地域づくりでは、地元の観光まちづくりセンターが中心となり、地域おこし協力隊などと連携しながら、様々な観光プログラムの開発に取り組んでいます。

また、観光まちづくりセンターでは、ふるさと納税の返礼業務も手掛けており、返礼品の商品数を増やすなど地域ブランドの付加価値創出に貢献しています。自主事業の収入については、事業開始以降から右肩上りを続けています。



松川町の観光まちづくりセンター職員(左)

# 山村留学・

## 重層的支援を調査

### 教育民生常任委員会行政視察

教育民生常任委員会(6名)は、10月17日から18日にかけて、山梨県早川町の山村留学制度の取り組みと、長野県伊那市の重層的支援体制整備事業を視察しました。

#### 大自然の中で

#### オンラインワン教育

#### 《山梨県早川町》

#### ◆早川町の概要

早川町は、山梨県の南西部に位置し、南アルプスの山々に囲まれた場所に位置しています。町の総人口は890人(10月1日現在)で、町の総面積は369・96キロm<sup>2</sup>となっています。

#### ◆山村留学の取組

早川町では、恵まれた自然環境での生活や学習を希望する児童生徒を留学生として受け入れる「山村留学制度」に取り組んでいます。



山村留学について説明を受ける

現在、町内の小中学校(小学校2校・中学校1校)では、47名の児童生徒数の内、9世帯14名を山村留学として受け入れるなど、平成15年度の受け入れ開始以降、合計で41世帯、78名の児童生徒を受け入れています。

#### ◆その他の支援制度

早川町では、「未来を担う子どもたちは町民全体で育てていく」を理念に、小中学校の教材費と校外学習経費の無償化のほか、中学校の卒業生を対象にした町独自の給付金事業にも取り組んでいます。

#### 地域と協働で

#### 独自の仕組み構築

#### 《長野県伊那市》

#### ◆伊那市の概要

伊那市は、長野県の南部に位置し、南アルプスを境に山梨県と静岡県に接し、中央アルプスを境に木曾地域と接しています。市の総人口は6万5536人(10月1日現在)で、市の総面積は667・93キロm<sup>2</sup>となっています。

#### ◆重層的支援体制整備事業

伊那市では、令和3年度に開所した「福祉まちづくりセンター」を拠点に、行政と社会福祉協議会が連携した重層的支援体制整備事業に取り組んでいます。主な事業としては、①包括的相談支援事業、②参加支援事業、③地域づくりに向けた支援事業、④アウトリーチ支援事業、⑤他機関協働事業の5事業があり、行政と社会福祉協議会が、それぞれの特徴や強

みを生かした役割分担により、効果的な事業の推進に取り組んでいます。

#### ◆地域を巻き込んだ取組

伊那市の重層的支援体制整備事業では、福祉の分野に限らず、まちづくりの分野を巻き込んだ「給付金付き就労準備事業(伊那ぶちバイト)」や、市内の飲食店と協働した「子ども食堂運営事業」にも力を入れています。また、行政区単位に120ヶ所の「地域社協」を組織するほか、「コミュニケーションの場として「まちの縁側」を82ヶ所置くなど、地域を巻き込んだ取り組みも特徴のひとつです。



事業について説明を受ける



## 議会広報モニター からの「意見」感想

議会広報モニターさんから寄せられた議会だより72号(前号)に関する「意見・ご感想」について一部を紹介いたします。

### ○表紙に関する「意見」

表紙写真(Are You Ready?)いざ出発。)テーマ(ふれあい)はベストショットです。馬頭高校水産科の30年以上続く伝統行事である力又ー実習も含め、今後馬頭高校が存続して欲しいです。

子どもたちの力又ー体験がさわやかに撮られているが、馬頭高校水産科の力又ー実習の様子であれば、高校生の姿が撮影されていた方がよい。

委員会より…

表紙写真は、馬頭高校水産科の生徒が那珂川で実習をしている様子です。表紙写真の説明が裏表紙にもあります。今後ともよろしくお願ひします。

### ○定例会に関する「意見」

2ページ報告の「株式会社まおろばおがわ経営状況」の表において、利益が「432万円(純損失)」表記されており会計の知識がないと赤字であることがわかりにくく、かつ「第23期(令和5年度)計画」の計画利益が54万円と極端に低く、ということなのかと戸惑う表記になっていると思います。

委員会より…

株まほろばおがわの経営状況の報告は企業会計のためわかりやすいように表記してお知らせしたつもりですが、純損失の表現が理解しにくかったことと思います。次回からは、よりわかりやすい表記にしてお知らせしたいと思います。

定例議会の一般質問議員が「毎回同じメンバーに偏っている」と町民の方からの声が聴こえています。議員の方はどう思われますか？

表紙裏の議会傍聴者数が6月7日に20人台になっているのは何か理由がありますか？

委員会より…

6月7日は、小川第2行政区の福寿会の団体傍聴がありました。

### ○その他議会だよりに関する「意見」

モニターからの意見・感想を取り上げていただくのはありがたいが、紙面に限りがあるのもっとコンパクトにまとめようではないか。表紙についての感想が3つあるなどスペース的にもったいない気がする。

委員会より…

モニターさんの「意見・ご感想」をひとりでつづつ掲載したいという思いからそのような掲載になりましたが、スペースにも限りがありますので掲載方法を熟考させて頂きます。

馬頭高等学校の存続を求むる要望書の添付は、文面の中に魅力が書いてあったので、子育て世代の方や、今後、進学を考えている生徒の目にも止まれば、入学希望者が増えるのではないかと感じました。

文字のレイアウト等、とても良かったと思います。

## 《視察来町》

### 北海道・留萌市議会

開催日 10月25日

北海道留萌市議会の第2常任委員会等の8名が来町し、子育て支援センターわかあゆを訪れ、施設の様子がセンターでの取組内容などを視察しました。

## 《常任委員会の経過》

### 総務産業常任委員会

開催日 9月7日

請願について、現地確認を行い、請願の内容を審査しました。また、本年度の常任委員会行政視察について協議し、山梨県市川三郷町の定住支援と長野県松川町の地場産業と地域ブランドの振興を視察することに決定しました。



中の原交差点を現地視察【請願】

開催日 9月15日

団体との意見交換会について、本年度は、11月13日に那珂川町鳥獣害防止対策協議会の皆さんと意見交換することに決定しました。

### 教育民生常任委員会

開催日 9月6日

本年度の常任委員会行政視察について協議し、山梨県早川町の山村留学制度と長野県伊那市の重層的支援体制整備事業を視察することに決定しました。また、健康福祉課と学校教育課から計画や事業について説明を受けました。

◆「那珂川町重層的支援体制整備事業実施計画(案)」「健康福祉課」

重層的支援体制整備事業実施計画は、介護や障害、子育て等における包括的相談事業や、困りごとを抱えた方への支援事業などの実施方法について、具体的な内容をまとめた計画です。

◆「中学校部活動の今後の在り方に向けた取組【学校教育課】」

現在、中学校部活動の地域移行に向けた検討が進められており、今年度は南那須陸上競技協会と連携した活動が予定されています。

開催日 9月14日

団体との意見交換会について、本年度は、11月14日に那珂川町体育協会の皆さんと意見交換することに決定しました。

## 《特別委員会の経過》

### 議会改革特別委員会

開催日 8月22日

第1小委員会を開催し、議会基本条例の検証作業を行いました。

開催日 8月28日

第2小委員会を開催し、視察の実施について協議を行いました。

開催日 9月19日

議会改革特別委員会を開催し、第1小委員会並びに第2小委員会における進捗状況を確認しました。

開催日 10月6日

第2小委員会を開催し、議員報酬等の調査・研究のため、市貝町議会を視察しました。

開催日 10月26日

第1小委員会を開催し、議会基

本条例の検証作業を行いました。

### 議会広報特別委員会

開催日 9月26日 10月19日 10月30日

議会だより第73号(11月10日発行)編集のため、委員会を3回開催しました。

開催日 9月27日

全国町村議会主催の広報研修会が日経ホール(東京都)で開催され、議会広報特別委員会の委員(全員)が研修会に参加し、議会広報紙づくりのポイントや編集に関する研修を受講しました。



広報研修会に参加した委員(9月27日)

～若い世代の皆様の意見をお聞かせください～

お知らせ

# 町民と議会との 意見交換会を開催します



日時: 令和5年12月17日(日)午後2時から  
会場: 小川総合福祉センター(多目的集会室)  
対象: 40歳代までの町内に住所を有する方

## 議会の日程と内容

令和5年 8月	10日	議会だより第72号発行
	22日	議会改革特別委員会第1小委員会
	28日	議会全員協議会
	28日	議会改革特別委員会第2小委員会
	29日	議会運営委員会(9月定例会)
9月	5日	令和5年第4回議会定例会(一般質問)
	6日	令和5年第4回議会定例会(一般質問)
	6日	教育民生常任委員会
	7日	令和5年第4回議会定例会(議案審議)
	7日	総務産業常任委員会
	8日～15日	決算審査特別委員会
	14日	教育民生常任委員会
	15日	総務産業常任委員会
	19日	令和5年第4回議会定例会(議案審議)
	19日	議会改革特別委員会
	26日	議会広報特別委員会 (第19回、第73号編集)
27日	議会広報特別委員会 全国町村議会広報研修会	
29日	南那須地区広域行政事務組合議会定例会	
10月	2日	議会全員協議会
	3日～4日	総務産業常任委員会行政視察
	6日	議会改革特別委員会第2小委員会視察(市貝町議会)
	11日～12日	那珂川町議会議員行政調査
	17日～18日	教育民生常任委員会行政視察
	19日	議会広報特別委員会 (第20回、第73号編集)
	25日	北海道留萌市議会第2常任委員会視察来町
	26日	議会全員協議会
	26日	議会改革特別委員会第1小委員会
	30日	議会広報特別委員会 (第21回、第73号編集)
11月	2日	高校生との意見交換会(詳細は次号に掲載します。)
	6日	総務産業常任委員会
	8日	千葉県山武市議会合同常任委員会視察来町
	10日	議会だより第73号発行



那須ジュニア  
ゴルフアースクラブ

(馬頭小学校6年)  
横山 創志さん(右)

(馬頭小学校5年)  
薄井 桜駕さん(左)



松山コーチと3人で

なちやんが  
聞きました。

Q いつからゴルフを始めたの？

A 小学校3年生の秋ごろだよ。(横山)

A 小学校2年生の秋ごろだよ。(薄井)

Q ゴルフを始めたいきっかけは？

A 家族でコースに行くために始めたよ。(横山)

A お父さんの練習に付いて行って、遊びでボールを打っていたら楽しくなって始めたんだ。

(薄井)

Q ゴルフをやっていて大変に思うことや、続け

ていて良かったと思うことは？

A ゴルフが大好きだから大変なことはないよ。良かったことは、たくさん練習して全国大会に出られたことかな。(横山)

A お父さんと一緒に練習する時間が長いのでよくケンカをするよ。他の学校にも友達ができたことが良かったことかな。(薄井)

Q 一番きつい練習は何？

A どんな練習も楽しいよ。(横山)

A すごくきつい練習はないけど、家でやるパターン練習やラウンドに連れて行ってくれる両親にはとても感謝してるよ。ゴルフを教えてくれるコーチや応援してくれる家族、た

くさんの人のサポートがあつてゴルフができています。(横山・薄井)

Q サポートしてくれている家族や周りの方々に練習やラウンドに連れて行って

くれる両親にはとても感謝してるよ。ゴルフを教えてくれる

コーチや応援してくれる家族、た

くさんの人のサポートがあつて

ゴルフができています。(横山・薄井)



薄井さん



横山さん

町から世界に羽ばたけ！  
那珂川



(横山・薄井)

### 議会を傍聴しませんか

皆さんの身近な問題などが審議されます。あなたも傍聴してみませんか。

次の定例会は、12月5日 開会  
(令和5年第5回議会定例会)の予定です。  
議場は、庁舎2階です。

ケーブルテレビ(11ch)で議会が生中継されます。

#### 第4回9月定例会の 議会傍聴者数

5日	11人
6日	8人
7日	1人
19日	2人

#### ●表紙写真 ジュニアゴルフ

那珂川町の小学生たちがゴルフを練習するコマにフォーカスしました。地域の大人が子どもたちのスポーツを指導する分野は、ゴルフ競技にも及んでいました。今回はゴルフというスポーツの「指導者と生徒のふれあい」です。生徒たちの礼儀正しい学びの姿勢と、プロが指導する本物のゴルフ。今後の活躍を期待せずにはいられません。

### 編集後記

皆様、いかがお過ごしでしょうか？季節も秋になりました。秋となりました。自分分は、食べることが大好きで、特に、和菓子、洋菓子、甘いもの何でもなんですけれど、食過ぎてしまう事が多々あります。そのため、自然と自分の体重は増え続けていきます。(やばい!)議員にならせていただいて、はや1年半が経ちますが、色々な事があり、この1年半で体重が約20kg増加してしまいました。ここでやっとなイエットの決意。「ちょうどいい、那珂川町には、温水プール(ウエルフルなかがわ)がある。この施設は本当にありがたい。雨の日も、寒くなってくるこの季節も、仕事終わりの時間帯も利用(21時まで)できるのが良いですね。議会だよりながわを読まれている方々も、運動、ふれあい、健康のために温水プール(ウエルフルなかがわ)、皆様も一緒にどうでしょう。施設を利用していただいで、徐々に体重が落ちていくのが日々の生活の楽しみです。

副委員長 神場 圭司

過去の議会だよりはこちらのQRコードで見られます。

那珂川町ホームページ <http://www.town.tochigi-nakagawa.lg.jp/>

